

韓国における日本古典文学研究・教育の現状と課題

—中世文学を中心に—

国立HANBAT大学校 日本語科 朴 蕙成

日時：2010.03.08.

於：早稲田戸山キャンパス39号館

資料1

\*下記の資料は2009—1990までの中世関連論文を国会図書館, 韓国日語日文学会, 韓国日本学会などのサイトで調べたものである。

**韻文**

定家の幽玄研究 - 『八代集秀逸』と『百人一首』を中心に-/林瓊洙(2009), 日語日文學研究

『近代秀歌』の恋歌の特徴—「有心」との関連から—/林瓊洙(2009) 日本學報

永福門院の戀歌考察/朴蕙成(2008), 日語日文學研究

『新古今和歌集』 神祇歌の理想考察/金良姫(2006), 日本語文學

室町時代の『古今集』受容：『兩度聞書』を中心に /金任淑(2006), 日本語文學

宗祇と旅 - 『白河記行』を中心として-/崔忠熙(2006), 日語日文學研究

八代集における「君」の考察：戀歌を中心として /盧仙淑(2005), 日本語文學

京極派と『徒然草』/嚴仁卿(2005), 日本語文學

京極派の歌の表現—為兼歌を中心に/朴蕙成(2004), 日語日文學研究

『伊香保三吟何衣百韻』の注釈(1)/崔忠熙(2004), 日語日文學研究

今様における和歌撰取の意味/具惠卿(2003), 日本學報

東西文学の交流：日本の俳句と能を中心に /ソン・ヘギョン(2003), ソウル女子大学校人文科学研究所人文論叢

新古今集中の紀貫之の作における詞書について/李美香(2002), 日語日文學研究

京極派歌人, 伏見院の和歌研究/朴蕙成(2002), 日語日文學研究

新古今集中の在原業平の作における詞書について/李美香(2001), 日語日文學研究

大嘗会和歌の一考察—八大集を中心に—/許命福(2001), 日語日文學研究

八代集における「雁」の小考：雁の部立を中心に /安修賢(2000), 日本語文學

八代集の地名掛詞考/金基瑞(1998), 日本語文學

和歌における“夢”に関する一考察; 『万葉集』と『古今集』 『新古今集』を中心に/李松姫(1995), 日語日文學研究

鴨長明の和歌に関する研究, I : 長明の和歌にみられる自然観を中心にして /曹起虎(1993), 圓光保険専門大学論文集

**散文**

日本中世王権と天皇像：『承久記』と『太平記』に比較/チャン・ヨン Chol(2009), 日本語文学

韓, 日説話文学における研究の対象となる作品 - 文献説話を中心 - /イー・シジュン(2009), 日語日文学研究

日本茶道形成に借用された中世の文化要素 - 茶人武野紹鷗と連歌の美意識を中心に - /朴銓烈(2009), 日本学報

能における義経像/金忠永(2009), 日本学報

動く中心点 - 連歌の解釈と翻訳/王淑英(2008), 日本学報

『徒然草』のレトリックに関する一考察/嚴仁卿(2007), 日本語文学

鴨長明と月講式/李貞熹(2007), 日本語文学

日本中世文学に描かれる女性の失恋と出家/キム・ソンファ(2007), 日語日文学研究

謡曲『桧垣』に咲いた『老木の花』/金忠永(2007), 日本学報

謡曲に現れた歌人の姿 - 主題との関連から - /林瓊洙(2007), 日本学報

中世日本の他者認識：日本歴史軍談を中心に/チャン・ヨン Chol(2006), 日本語文学

『経信集』と『徒然草』 - 平安時代と中世を繋ぐ書記行為意識の一つの流れ - /嚴仁卿(2006), 日本学報

『とはずがたり』に表れる中性女性と出家/キム・ソンファ(2005), 日本語文学

『唯心房集』所収今様の作者考 - 寂然である可能性 - /具惠卿(2005), 日語日文学研究

日本古典文学の文化論的研究方法/南二淑(2005), 韓国日本文化学会 日本文化学報

中世における「うつくし」の用法について /黄殷夏(2005), 日本語文学

兼好と職故實：『徒然草』とその時代を中心に/嚴仁卿(2005), 日本語文学

韓国における日本中世文学研究の現況及びその批判的点検/崔忠熙(2005), 日語日文学研究

中世文学に描かれる女性の〈性〉：『とはずがたり』を中心に/キム・ソンファ(2005), 日語日文学研究

『徒然草』冒頭の問題 - 狂言綺語観と関連して - /嚴仁卿(2005), 日本学報

世阿弥能作品の中の月に関して - 『松風』と『姥捨』の場合 - /金忠永(2005), 日本学報

韓国における日本中世劇文学研究の成果と展望 - 特に能・狂言研究の課題提示に焦点を当て - /金忠永(2005), 日本学報

日本文学に表れる「虎」の需要/チェ・キョングック(2004), 日語日文学研究

百濟, 新羅の虎の話：『宇治拾遺物語』を中心に/小林保治(2004), 日語日文学研究

『とはずがたり』研究：二条の〈罪〉意識と弁明 /キム・ソンファ(2004), 日本語文学

『平家物語』に表れる以仁王の挙兵事件/崔文正(2004), 日本語文学

中世日本社会における高麗との関係/金相圭 ; 山口勝弘(2004), 日本語文学

『とはずがたり』の西行受容に関して/キム・ソンファ(2004), 日本学報

『発心集』の著述意図と方法に関する考察/柳嬉承(2004), 日本学報

『平家物語』 「法住寺合戦」に関する考察-「ヲコ」の反転と「王権」の行方/朴銀姫(2004), 日本學報

世阿弥の夢幻能の作品に見られる一つの流れ/金忠永(2004), 日本學報

日本中世説話文學における「不思議」話の一考察 : 『古今著聞集』を中心に / 平本留理(2004), 韓國外國語大學校日本研究所 日本研究

『徒然草』の第百五十三段について : 配所の月への思い / 韓智媛(2003), 日本語文學

『平家物語』の既婚女性像2 : 巴を中心に/甘榮熙(2003), 日本語文學

お伽草子 師門物語』の再考 : 女主人公の存在価値及び役割を中心に/ 李鎔美 (2003), 日本語文學

鎌倉幕府成立期の政治状況に関する研究/申宗大(2003), 日本語文學

日本中古・中世文学の思想的背景の再検討/崔文正 (2003), 日語日文學研究

「野守」の構造-/林瓊洙(2003), 日語日文學研究

お伽草子『玉藻前物語』における妖怪退治の構造及び正確 李鎔美(2003), 日語日文學研究

韓国における日本文学の現況と展望/金鍾徳(2003), 日語日文學研究

『十訓抄』の説話言語説/吳讚旭(2003), 日語日文學研究

中世隠者文學における「友」/李貞熹(2002), 日本語文學

『古今著聞集』の「神祇」・「釈教」篇考/吳讚旭(2002), 日語日文學研究

お伽草子の女性の怨恨と鎮魂 : 「鬼」変身の象徴性を中心に/李鎔美(2002), 日語日文學研究

兼好の死生観 : 『徒然草』を中心に / 嚴仁卿 (2001), 日本語文學

隠者文學に対する一考察 : 『方丈記』を中心に/李貞熹(2001), 日本語文學

『古今著聞集』の編者橘成季の意識構造/吳讚旭(2001), 日語日文學研究

日本中世軍記文学に表れる勝者観と敗者観 : 『平家物語』と『太平記』 第1部を中心に/崔文正(2000), 日語日文學研究

中近世文学の「邯鄲」古事受容様相/黄石珠(1999), 日本語文學會

日本中世鎌倉幕府の政治機構に関する研究/申宗大(1998), 日本語文學

鴨長明に関する研究 : 月に対する関心を中心に/李貞熹(1997), 日本語文學

日本古典文学の中の韓国 : 「今昔」・「宇治」・「古今著聞」/金泰燾(1997), 日本文化學報

日本中世における法語文學 研究 : 法然の『選擇集』を中心に/曹起虎(1996), 日本語文學

『平家物語』における忠度像 : 人の心をたねとして / 盧熙眞(1997), 慶熙大學校日本學論集

「徒然草」における意識の問題 / チャン・アンスン(1996), 濟州専門大学論文集

『古今著聞集』の舞臺;詩・場・人 / 吳讚旭(1995), 明知大學校藝體能研究所藝體能論集

兼好の轉記研究, 3 : 關東下向と出家 / 朱正暎(1991), 啓明大學校日本文化研究所 日本學誌

日本中世文學に表れる人間像に関する研究 : 「義經記」と「曾我物語」を中心に/韓再龍(1990), 慶南大學校日本問題研究所 日本研究.

謠曲 『檜垣』の主人公と主題に関して/金忠永(1995), 日語日文學研究

発心集第50と女人『愛執心在異録』/田坂正則(2002), 日語日文學研究

文化的多様性の現象として位置づける日本古典文學の再考：平家物語に現れた規範意識の受容を中心に / 李鮮瑛 (2002), 日本學報

資料 2

韓国外国語大学校大学院研究動向

| 年代   | 修士 |     |    |     |     |    | 博士 |    |    |    |     |   |
|------|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|---|
|      | 語学 | 13  | 文学 | 29  | 日本学 | 0  | 語学 | 0  | 文学 | 0  | 日本学 | 0 |
| 1970 | 語学 | 51  | 文学 | 72  | 日本学 | 0  | 語学 | 0  | 文学 | 0  | 日本学 | 0 |
| 1980 | 語学 | 55  | 文学 | 111 | 日本学 | 7  | 語学 | 2  | 文学 | 5  | 日本学 | 0 |
| 1990 | 語学 | 114 | 文学 | 63  | 日本学 | 75 | 語学 | 42 | 文学 | 25 | 日本学 | 2 |
| 2000 | 語学 | 233 |    | 275 |     | 82 |    | 44 |    | 30 |     | 2 |
| 総計   |    |     |    |     |     |    |    |    |    |    |     |   |

韓国外国語大学校大学院博士論文時代別, 専攻別動向

| 時代 | 韻文/散文 | 専攻分野   | 本数 |  |
|----|-------|--------|----|--|
| 上代 | 散文    | 神話     | 1  |  |
| 中古 | 韻文    | 和歌     | 3  |  |
|    | 散文    | 王朝物語   | 4  |  |
| 中世 | 韻文    | 和歌     | 2  |  |
|    | 散文    | 軍記物語   | 1  |  |
|    |       | 随筆     | 1  |  |
| 近世 | 韻文    | 俳諧     | 1  |  |
|    | 散文    | 仮名草子など | 1  |  |
| 近代 | 韻文    | 俳句     | 1  |  |
|    |       | 詩      | 2  |  |
|    | 散文    | 小説     | 11 |  |
|    |       | 随筆     | 2  |  |
| 現代 | 散文    | 小説     | 1  |  |

韓国外国語大学校大学院修士論文時代別, 専攻別動向

| 時代 | 韻文/散文 | 専攻分野 | 本数 | 備考 (比較) |
|----|-------|------|----|---------|
| 上代 | 韻文    | 和歌   | 4  | (1)     |
|    | 散文    | 神話   | 4  | (1)     |

|    |     |        |    |     |
|----|-----|--------|----|-----|
| 中古 | 韻文  | 和歌     | 15 | (1) |
|    | 散文  | 王朝物語   | 26 |     |
|    |     | 随筆     | 5  |     |
|    |     | 説話     | 10 | (1) |
|    |     | 日記     | 9  |     |
|    |     | 小説(?)  | 1  |     |
| 中世 | 韻文  | 和歌     | 5  |     |
|    | 散文  | 軍記物語   | 4  |     |
|    |     | 説話     | 1  |     |
|    |     | 随筆     | 14 |     |
|    |     | 日記     | 1  |     |
|    |     | 物語     | 1  |     |
|    | 劇文学 | 能      | 5  |     |
| 近世 | 韻文  | 俳諧     | 9  |     |
|    | 散文  | 仮名草子など | 20 | (1) |
|    |     | 小説(?)  | 1  |     |
|    | 劇文学 | 浄瑠璃    | 1  | (1) |
|    |     | 歌舞伎    | 1  |     |
|    |     | 狂言     | 1  |     |
| 近代 | 韻文  | 短歌     | 6  |     |
|    |     | 俳句     | 1  |     |
|    |     | 詩      | 10 | (2) |
|    | 散文  | 小説     | 79 | (6) |
|    |     | 日記     | 1  |     |
|    |     | 評論     | 6  | (1) |
|    |     | 童話     | 4  |     |
| 現代 | 韻文  | 詩      | 2  |     |
|    | 散文  | 小説     | 33 |     |

\*資料は韓国外国語大学校日本語大学 韓美卿学長の提供

韓国外国語大学修士論文

教育大学院

『徒然草』の〈つれづれなる世界〉の意味に関する一考察：第百三十七段を中心に/ 李載龍. (2009)

「御伽草子」に表れる庶民像の考察：戀愛求婚談・立身出世談を中心に/ 朴熙連. (2005)

『御伽草子』の「怪物退治談」考察/朱玉南. (2004)

## 一般大学院

『新古今和歌集』における藤原定家の歌に関する一考察/李鎮(2003)

『宇治拾遺物語』の人間像の一考察/盧孝順(2002)

八代集と芭蕉句の歌枕考察/康盛國(2001)

『徒然草』に表れる '自由' に関する考察/白知喜(2001)

『宇治拾遺物語』の表現に関する一考察 : 『今昔物語集』との共通話を中心に/キム・ヨルメ  
(2000)

## 韓国外語大学博士論文

日本 釋教歌 研究 : 成立と変遷過程を中心に/イー・ヒョンジュ (2006)

日本中世文學に表れる風流研究 : '스키(すき:數寄)' をを中心に/ 金仁惠(2005)

八代集の屏風歌研究/許命福(2002)

京極派歌人の和歌研究/朴蕙成(2001)

## 参考文献

サイト : 韓国国会図書館 <http://www.nanet.go.kr>

韓国外語大学図書館 <http://weblib.hufs.ac.kr>

韓国日語日文学会 <http://www.hanilhak.or.kr/>

韓国日本学会 <http://www.kaja.or.kr/>

参考論文 :

韓国における日本中世文学研究の現況とその批判的点検/崔忠熙(2005), 日語日文學研究

韓国における日本文学の現況と展望/金鍾德(2003) ), 日語日文學研究